

## 第6学年1組 音楽科学習指導案

令和元年6月18日(火)

島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程

授業者 上代 美樹

### 1 題材名 いろいろな音のひびきを味わおう ～「木星」の鑑賞～

### 2 題材のねらい

曲想とその変化の特徴、楽器の音色や組み合わせ、旋律のくり返しなどのかかわり合いから、曲の良さなど自分の感じたことや考えたことを伝え合いながら、曲全体を味わって聴くことができるようにする。

### 3 授業の構想

本題材で取り上げる「木星」(管弦楽組曲「惑星」より/ホルスト作曲)は、子どもたちがオーケストラの響きを最初に学ぶ曲である。大きく分けて4つの部分からなり、曲想が変化していく。楽器の編成によって響きが大きく変わり、旋律や速度の変化も分かりやすいため、曲想の変化を感じ取りやすい。また、この曲を通してオーケストラで使われる楽器を知ったり、それぞれの楽器の音色を確認したりすることができる。音色の違う多くの楽器が一体となって生まれる響きを味わうことのできる曲である。

前時において、曲を聴いた感想を交流させ、子どもたちは強弱や音色などに着目し曲の特徴をとらえている。そうした学びを生かし、曲想が変わったのは、何(旋律、音色、リズムなど)が要因であるのかに気付き、そこから新しい知識を得たり生かしたりしながら、曲の良さを見いだせるようにしたい。また、曲想が変化することでどのように感じたのかを伝え合う活動を取り入れることで、変化と音楽の構造との関わりを理解し、曲全体を味わって聴くことができるようにしていきたい。

#### **音楽的な見方・考え方を働かせるために**

子ども自ら、音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、捉えたことと自己のイメージや感情、捉えたことと生活や文化などに関連付けて考えることができるようにしたい。そのために、まずオーケストラについて学習し、楽器や音色の違いを聴き取れるようにしていく。その後、音楽の構造に目を向け、旋律やリズム、反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取れるようにしたい。音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを根拠にして曲全体を味わえるようになることをねらっている。

#### **曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができるために**

今回は、子どもが曲全体に意識を向け、曲全体を味わって聴くことにつなげるために、木星を「どんな人に」「どんな時に」聴くことをすすめるのか、自分にとっての考えをもち、伝える活動を取り入れる。その際に、「なぜそのように思ったのか」という根拠をもとに話ができるようにしていく。前時で学習したことをもとに、音楽を形づくっている要素と自分の思い、考えをつなげられるようにする。例えば、「曲の感じが変わっていく。」と発言

した子どもに対して、なぜそう思ったのかを問い返したり、要素に着目した考えを述べるのみにとどまった子どもには、それによってどんな気持ちになるのかを聞いてみたりしながら、自分の思いとつながるようにしていきたい。

子どもによっては、曲全体ではなく、部分的なよさの気付きにとどまる場合があるかもしれないが、様々な意見にふれることで、曲の構造にも着目し、曲全体を味わって聴くことができるようにしたい。

#### 4 展開計画（全2時間 本時2/2）

- オーケストラの楽器の音色や曲の構造を知り、曲の特徴をとらえる。（1時間）
- 自分の思いと音楽を形づくっている要素を結びつけながら、感じたことを伝え合い、曲全体を味わって聴く。（2時間・本時）**

#### 5 評価の観点及び趣旨

観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、音楽を味わって聴いている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 6 本時の学習（本時）

### (1) ねらい

自分の思いと音楽を形づくっている要素を結びつけながら，感じたことを伝え合い，曲全体を味わって聴いている。（思考・判断・表現）

### (2) 展開

主な学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 前時まで学習したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラにはたくさんの楽器があった。</li> <li>・4つの部分からなっている。</li> <li>・<b>イ</b>は，ほとんど弦楽器で演奏していた。</li> </ul> <p>2. 本時のめあてを確認して，曲を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲全体の構造が分かりやすいように，簡単な曲の流れを掲示する。</li> <li>・前時の気付きを伝え合う時間を取ることで，音楽的な根拠とつながるようにしていく。</li> <li>・オーケストラの編成やそれぞれの楽器が確認できるように，デジタル教科書を使用する。</li> </ul>
<p>「こんなときにおすすめ！」を伝えよう。</p>	
<p>3. 根拠をもとにして自分の考えを伝える。</p> <p><u>元気になりたいときにおすすめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめは，激しく演奏されているけれど，<b>イ</b>になると，弦楽器だけになるので心が落ちつく。その後，また激しくなるので，元気が出てくる。</li> </ul> <p><u>泣きたいときにおすすめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迫力のある<b>ア</b>に穏やかな<b>イ</b>が挟まれていることで，心が揺さぶられる。</li> </ul> <p><u>心を落ち着かせたいときにおすすめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>イ</b>は，ほとんど弦楽器だけで演奏されているから，弦楽器の音色がよく響き，とてもきれいで穏やかな気持ちになれる。</li> </ul> <p>4. 曲を聴きながら，本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人によって感じ方が全く違うことに気づきました。</li> <li>・もう一度聴いてみて，強弱があるからこそワクワクしたりリラックスしたりできると思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなときに聴きたくなるのか，おすすめするのかを考えてみよう。」と投げかけることで，イメージしながら曲全体を聴くことができるようにする。</li> <li>・曲全体を味わって聴くことができるように，子どもたちそれぞれの自分なりの気付きを伝え合い，曲全体の音楽の構造に意識が向くようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>見方・考え方</u></p> <p>音楽を形づくっている要素に着目し，自分のおすすめする内容の根拠と関連付けて考えている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価の観点（思考・判断・表現）】</b></p> <p>自分の思いと音楽を形づくっている要素を結びつけながら，感じたことを伝え合い，曲全体を味わって聴いている。</p> <p style="text-align: right;">（方法：発言・ワークシート）</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲全体を味わって聴くことができるように，自分の気付きや友だちの気付きを意識して聴くように声がけをする。</li> <li>・これから出会う曲を聴くときに本時の学習が生かせるような声がけをする。</li> </ul>